

科目名		コーチ学							年度	2025
英語科目名		Coaching							学期	後期
学科・学年		スポーツ健康学科 テニスコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		手島	教員の実務経験		有	実務経験の職種		コーチデベロッパー、大学講師		
【科目の目的】										
日本スポーツ協会公認指導者資格の取得に必要な共通科目Ⅲおよびコーチングアシスタント資格取得に必要な知識の獲得を目指します。 JSP0において開催される知識確認テストの合格に向けた対策授業を実施します。										
【科目の概要】										
スポーツ指導者とは、指導者の心構え・視点、競技者育成プログラムの理念、指導計画の立て方、スポーツ活動と安全管理、スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任など、について学びます。										
【到達目標】										
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(アスレティックトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、水泳指導員、テニス指導員、テニス教師など)に共通して必要となる基礎的な教養を身につけることを目標とします。 A. スポーツにおけるコーチングとコーチについてその意味と意義をしっかりと理解して。 B. スポーツのコーチに求められる知識とスキルについて十分理解し、それらを高めるために必要なことを意識することができる C. 社会の中におけるスポーツの存在意義と価値を理解し、新たなスポーツ文化を創造するためのコーチの役割と責任について理解できる D. 国際競技力向上のためのハイパフォーマンススポーツのコーチングについて理解できる										
【授業の注意点】										
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	スポーツにおけるコーチングとコーチについてその意味と意義をしっかりと理解して。		スポーツにおけるコーチングとコーチについてその意味と意義を「ある程度」理解して。		スポーツにおけるコーチングとコーチについてその意味と意義を「あまり」理解していない。					
到達目標 B	スポーツのコーチに求められる知識とスキルについて十分理解し、それらを高めるために必要なことを意識することができる		スポーツのコーチに求められる知識とスキルについて「ある程度」理解し、それらを高めるために必要なことを意識することができる		スポーツのコーチに求められる知識とスキルについて「あまり」理解していない。					
到達目標 C	社会の中におけるスポーツの存在意義と価値を理解し、新たなスポーツ文化を創造するためのコーチの役割と責任について理解できる		社会の中におけるスポーツの存在意義と価値を理解し、新たなスポーツ文化を創造するためのコーチの役割と責任について「ある程度」理解できる		社会の中におけるスポーツの存在意義と価値を理解し、新たなスポーツ文化を創造するためのコーチの役割と責任について「あまり」理解していない。					
到達目標 D	国際競技力向上のためのハイパフォーマンススポーツのコーチングについて理解できる		国際競技力向上のためのハイパフォーマンススポーツのコーチングについて「ある程度」理解できる		国際競技力向上のためのハイパフォーマンススポーツのコーチングについて「あまり」理解していない。					
【教科書】										
必要に応じて適宜資料を配布します										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

